

## 感謝の言葉（2月）



### 消化器外科医師の皆さま 中央病棟 8 階看護師の皆さま

6年ぶりに東京女子医大にお世話になる事になりました。職員の人達の親切さに何か変わったな～と感じながらの入院生活が始まりました。立派な〇〇先生チームに診てもらえるというだけでも、私は幸せ者だと感謝です。チームの皆様は冷静沈着、素早い判断、私の辛さも聞き入れてくれ、そして明るく楽しい先生方で安心して身を任せられました。

入院生活で一番驚き感動したのは、看護師さんの態度、気持ち？うわべだけでなく、本当に心から患者さんに寄り添い気持ちを察してくれて、何とかベストな状態に持って行ってあげようという気持ちにあふれていました。

病気は辛いです。正直、心が折れそうな時も何度もありましたが、元気に退院できたのは、ひとえに皆様のお陰です。

おこがましいですが、東京女子医大は益々良い病院になっていくと思います。（東京女子医大にナイチンゲールを見た♡）



泌尿器科医師・中央病棟9階の皆さまへ

入院をした事がない私が、腎臓移植をする事になり不安がかなりありました。

外来の時から診て頂いている〇〇先生及びコーディネーターの〇〇さんには、何回も病室まで顔を出してもらい、ずいぶんと勇気づけて頂きました。また、退院までの看護をしてくれた〇〇さん、〇〇さんには色々と教えて頂きました。

他にも私の日々の状態を診て頂いた先生方、日々の担当をして頂いた看護師の方々も、とても親切で良かったです。

## 感謝の言葉（2月）



### 消化器内視鏡科医師の方々、 第一病棟5階の看護師の方々へ

看護師の方々も非常に親身に対応して頂き、ありがとうございました。  
感謝しています。  
担当医の方々も親切にやり取りして頂き、ありがとうございました。

### SCUの看護師さんへ



SCUの〇〇さん、本当に本当に、ありがとうございました！  
いつも体のことを気にかけてくれ、優しく話しかけてくれ、ありがた  
い嬉しかったです！  
〇〇さんの笑顔と優しさは忘れられません！感謝です！



## 中央放射線部の検査技師の方へ

閉所が苦手な私にとって、MRIは大変苦痛な検査ですが、多分、No.11担当の検査技師さん若い女性の方でしたが、ていねいな声かけ、気配りをして頂き、とてもリラックスして検査を受けられました。  
ありがとうございました。

## 感謝の言葉（2月）



外来センター2階  
点滴・注射センターの皆さまへ

皆さん、とっていてもていねいで優しいです。  
お身体を大切にしてください。

いつもありがとうございます。



## 栄養管理部の皆さまへ

病院食が最高に美味しかったです。  
生きがいになるくらい、本当に美味しかったです。

アレルギー食の外来での販売や出前があったら、絶対に買うと思います。

# ご意見へのお返事（2月）



神経精神科外来、コロナも治まり、体温チェックももうしていないのだから、来院受付をわざわざ外来棟に行かずに、精神科の所で出来るようにしてください。

（R07.1.23日付けご意見）

## <お返事>

貴重なご意見ありがとうございます。

現在、神経精神科では初診受付・再診受付は行っておりませんが、今後も運用の変更は考えておりません。マイナンバーカードでの保険証確認等は、すべて総合外来センターで行っており、確認する機械についても総合外来センターにて一本化しております。

到着確認については、現在も神経精神科で出来るようになっております。

ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解ご協力よろしく願いいたします。

外来医事課

# ご意見へのお返事（2月）



総合外来センター2階の点滴・注射センターは、とにかく待ち時間が長い。廊下で皆待っています。もう少し手順良く出来ないでしょうか。

（R07.2.6日付けご意見）

## <お返事>

この度は、外来2階の注射点滴センターで、長時間の待ちが発生している事につきましてお詫び致します。

当院の注射点滴センターでは、治療スケジュールが決まっている全診療科の注射、点滴、輸血、輸血製剤、生物学的製剤等全ての治療に対応しております。

当院は過去に風化させてはならない医療事故を起こした経験から、職員が一丸となり、東京女子医科大学病院を選んで訪れて下さった皆様への安全、安心な医療ケアの提供に何よりも力を入れて取り組んでおります。

注射点滴センターでも患者さんに薬剤投与を行うまでの医師のオーダー発行から薬剤準備、注射の調剤過程、患者さんの呼び入れ患者認証、薬剤投与後のアレルギーチェックに至るまでの一つ一つの過程に、看護師たちによる2重3重の確認作業を遵守し行って参りました。しかし、時代と共に、新薬や複雑な約束事のある注射製剤が飛躍的に増加し、看護師による確認作業が追いつかない状況になり、ご指摘のように、薬剤投与までの待ち時間が長くなっています。

そこで、私たちは多職種協働で対策を考え、業務改革に取り組み始めました。医師たちの外来診察日の曜日の重なり具合によってお待たせする時間が長くなっている傾向がありますが、先に記しました通り、病院内の多職種ワーキングで安全、安心な医療ケアを、少しでもお待たせする時間を短縮して提供できるよう、業務改革を進めて参ります。

注射点滴センター



# ご意見へのお返事（2月）



弾性ストッキングを装着できるスペースを作って頂きたいです。診察後、トイレに行き新聞を広げて装着しておりますが、大変不自由です。看護師さんにお声を掛けたくても誰もおらず、いつも不自由だなと感じております。

（R07.2.7日付けご意見）

## <お返事>

この度は、貴重なご意見を頂きましてありがとうございます。通常のストッキングの着衣とは違い、おそらく下肢の浮腫みなどに対する治療用の強圧弾性圧迫着衣の着脱の際のお困りと受け止めました。4階の南ケアルームは現在超音波検査室となっており、看護師が不在にしております申し訳ありません。

現時点での提案としましては、南北の多目的トイレの中に引き出し式ベッドのご用意があります。本来でしたらこのベッドに腰を掛けて頂き、靴を脱いでフィッティングボードに足を置き、着脱できることが理想かと思いますが、現在はそこまでのご用意は出来ておりません。今後、病院で設置の検討がなされるよう働きかけていきたいと思っております。

また、4階は診察室に助産師や、北ケアルームには看護師が、在中しておりますのでお困りの際にはお声掛け頂けますようお願い致します。

ご不便をおかけし申し訳ありません。

総合外来センター4階